

marantz®

Model EQ580 取扱説明書

Graphic Equalizer Spectrum Analyzer

お買い上げいただき、ありがとうございます。
ご使用前に、この取扱説明書をよくお読みになり、正しくお使いください。お読みになったあとは、「保証書」とともに大切に保存してください。
なお、お買い上げいただきました製品は、厳重な品質管理のもとに生産されておりますが、ご不審な箇所などがありましたら、お早めにお買い上げ店、当社お客様相談センター、または最寄りの当社サービスセンターにお問い合わせください。

安全上のご注意

絵表示について

この「安全上のご注意」は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するため、いろいろな絵表示をしています。内容をよく理解してから本文をお読みください。



警告

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



注意

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。



ⓧ 記号は禁止の行為であることを告げるものです。
図の中や近傍に具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。



Ⓞ 記号は行為を強制したり指示したりする内容を告げるものです。
図の中に具体的な指示内容（左図の場合は電源プラグをコンセントから抜く）が描かれています。

警告



電源プラグを
コンセントから抜く

- 万一、煙が出ている、変なにおいや音がするなどの異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。すぐに機器本体の電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。煙が出なくなるのを確認して販売店に修理をご依頼ください。
- 万一、機器の内部に水などが入った場合は、まず機器本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。
- 万一、機器の内部に異物が入った場合は、まず機器本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。



- 電源コードが傷んだら(芯線の露出、断線など)販売店に交換をご依頼ください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。



水場での使用禁止

- 風呂場では使用しないでください。火災・感電の原因となります。



接触禁止

- 雷が鳴りだしたら、アンテナ線や電源プラグには触れないでください。感電の原因となります。



- 表示された電源電圧(交流100ボルト)以外の電圧で使用しないでください。火災・感電の原因となります。
- この機器を使用できるのは、日本国内のみです。船舶などの直流(DC)電源には接続しないでください。火災の原因となります。
- この機器に水が入ったり、ぬらさないようにご注意ください。火災・感電の原因となります。雨天、降雪中、海岸、水辺での使用は特にご注意ください。



- 万一、この機器を落したり、キャビネットを破損した場合は、機器本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。

警告



- この機器を設置する場合は、壁から10cm以上の間隔をおいてください。また、放熱をよくするために、他の機器との間は少し離して置いてください。ラックなどに入れるときは、機器の天面から2cm以上、背面から5cm以上のすきまをあけてください。内部に熱がこもり火災の原因となります。



- 電源コードの上に重いものをのせたり、コードがこの機器の下敷きにならないようにしてください。コードに傷がついて、火災・感電の原因となります。コードの上を敷物などで覆うことにより、それに気付かず、重いものをのせてしまうことがあります。
- この機器の上に花びん、植木鉢、コップ、化粧品、薬品や水などの入った容器や小さな金属物を置かないでください。こぼれたり、中に入った場合、火災・感電の原因となります。



分解禁止

- この機器の裏ぶた、キャビネット、カバーは絶対外さないでください。内部には電圧の高い部分があり、感電の原因となります。内部の点検・整備・修理は販売店にご依頼ください。
- この機器を改造しないでください。火災・感電の原因となります。



- 電源コードを傷つけたり、加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、加熱したりしないでください。コードが破損して、火災・感電の原因となります。
- この機器のACアウトレットが供給できる電力は、後面パネルに表示されています。接続する装置の消費電力の合計が表示されているW(容量)を超えないようにしてください。火災の原因となります。電熱器具、ヘアドライヤー、電磁調理器などは接続しないでください。また、供給電力以内であっても、電源を入れたときに大電流の流れる機器などは、接続しないでください。

注意



- この機器の上にテレビやオーディオ機器などを乗せたまま移動しないでください。倒れたり、落下して、けがの原因となることがあります。
- この機器に乗ったり、ぶら下がったりしないでください。特にお子様にはご注意ください。倒れたり、こわしたりして、けがの原因となることがあります。
- 長時間音が歪んだ状態で使わないでください。スピーカーが発熱し、火災の原因となることがあります。



- ヘッドホンをご使用になるときは、音量を上げすぎないようにご注意ください。耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。

⚠ 注意



- 調理台や加湿器のそばなど、油煙や湯気が当たるような場所に置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。
- ぐらついた台の上や傾いた所など、不安定な場所に置かないでください。落ちたり、倒れたりしてけがの原因となることがあります。
- 電源コードを熱器具に近づけないでください。コードの被ふくが溶けて、火災・感電の原因となることがあります。
- 窓を閉めきった自動車の中や直射日光が当たる場所など、異常に温度が高くなる場所に放置しないでください。キャビネットや部品に悪い影響を与え、火災の原因となることがあります。
- 湿気やほこりの多い場所に置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。



- テレビ、オーディオ機器、ビデオ機器、ゲーム機、スピーカー等の機器を接続する場合は、各々の機器の取扱説明書をよく読み、電源を切り、説明に従って接続してください。また、接続は指定のコードを使用してください。指定以外のコードを使用したり、コードを延長したりすると発熱し、やけどの原因となることがあります。
- 電源を入れる前には音量(ボリューム)を最小にしてください。突然大きな音が出て、聴力障害などの原因となることがあります。



- 旅行などで長期間、この機器をご使用にならないときは、安全のため必ず、電源プラグをコンセントから抜いてください。火災の原因となることがあります。
- お手入れの際は、安全のため電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。感電の原因となることがあります。



- 5年に一度くらいは、機器内部の掃除を販売店などにご相談ください。機器の内部にほこりがたまったまま、長い間掃除をしないと、火災や故障の原因となることがあります。特に、湿気の多くなる梅雨期の前に行うと、より効果的です。なお、掃除費用については、販売店などにご相談ください。



- めれた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因となることがあります。
- 電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らないでください。コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。必ずプラグを持って抜いてください。



- 移動させる場合は、電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜き、アンテナ線、機器間の接続コードなど、外部の接続コードを外してから行ってください。コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。



- この機器の上に10kg以上の重いものや外枠からはみ出るような大きなものを置かないでください。バランスがくずれて倒れたり、落下して、けがの原因となることがあります。

目次

1	ご使用前に	5
2	接続方法および各部の名称と使い方	6
3	使い方	9
4	スペクトラムアナライザーについて (SPECTRUM ANALYZER)	10
5	ブロックダイアグラム	15
6	お手入れ	16
7	保証・アフターサービスについて	16
8	規格	16

1 ご使用前に

■次のような場所には置かないように……

セットを長くご使用いただくために、次のような場所には置かないでください。

- ・ 温度が非常に高いところ
直射日光が長時間あたる場所や暖房器具の近くなど、温度の非常に高いところ (60℃以上) での使用、放置は避けてください。
- ・ 湿気の多いところ
風呂場や雨が吹きこむところなど、水がかかるところや湿気の多いところでの使用や放置は避けてください。
- ・ 振動や傾斜のある不安定な場所

■ご使用いただく電源電圧・周波数は

- ・ 電源電圧は、交流 100V をご使用ください。
- ・ 電源周波数は、50Hz 地域または 60Hz 地域で使用できます。

■電源コードの取扱い

- ・ 濡れた手で触れないでください。
- ・ 電源コードは、かならずプラグを持って抜いてください。コードを強くひっぱったり、折り曲げたりしますとコードがいたみ、感電や火災の原因になります。

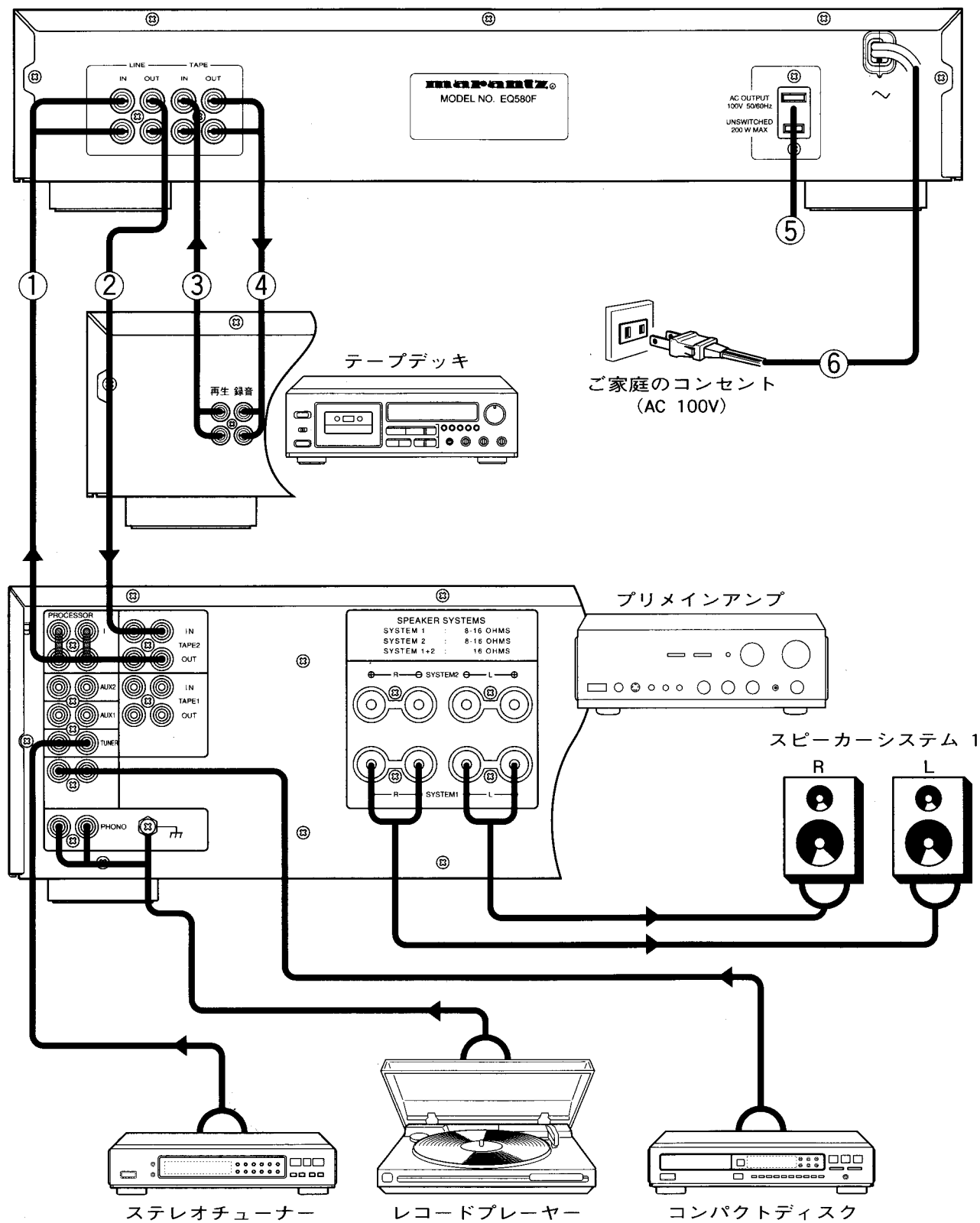
■異物が入った場合

・ 異物がセット内部にはいった場合は、ただちに電源コードをはずし、お近くの当社サービスセンターにご連絡ください。

■音場補正を行う場合

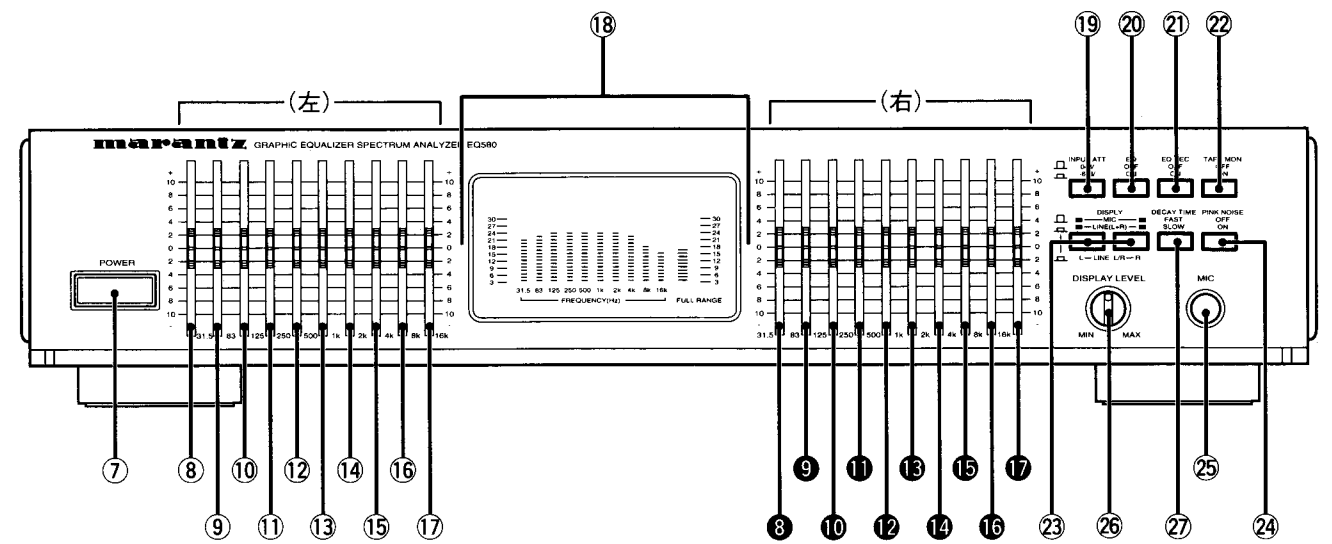
- ・ スペクトラムアナライザーを使って音場補正を行う場合は、コンデンサーマイクロホンが必要になります。
本機には、マイクロホンは付属されていませんので、別途ご用意ください。
- ・ マイクロホンはコンデンサー型、ダイナミック型のどちらでも使用できます。マイクロホンはできるだけ周波数特性の良い物をご使用ください。

2 接続方法および各部の名称と使い方



■アンプのモニタースイッチは必ず“TAPE”にしておいてください。

ただし、2系統のテープデッキが接続できるアンプの場合は、使用したTAPE端子に合わせて、そのモニタースイッチを切換えます。例えば、TAPE 1端子に接続したときはTAPE 1、TAPE 2端子に接続したときはTAPE 2の位置にします。



① ライン入力/ライン出力端子 ②

アンプに接続します。ライン入力端子は、アンプのテープレコーダー録音出力端子に、またライン出力端子は、アンプのテープレコーダー再生入力端子に接続します。

③ テープレコーダー再生/録音端子 ④

テープレッキに接続します。TAPE IN (再生端子) は、テープレッキのLINE OUT (再生端子) に、またTAPE OUT (録音端子) は、テープレッキのLINE IN (録音端子) に接続します。

⑤ 電源コンセント

この電源コンセントは、非連動ですので、電源スイッチと連動させる必要のないコンポーネントの電源プラグを差し込みます。また、電力容量は200W以下ですので消費電力の大きいものは使用しないでください。

⑥ 電源コード

家庭用電源コンセント、または他のオーディオ機器の非連動電源コンセントに接続してください。

⑦ 電源スイッチ (POWER)

スイッチを押すと電源が入り、もう一度押すと電源は切れます。

⑧ 31.5Hz EQ つまみ

このつまみを下降させますと、モーターゴロなど低域の雑音がカットされます。上昇させますと超低音が強調されます。

⑨ 63Hz EQ つまみ

このつまみを下降させますと、ステレオ装置、電子機器などで発生したハム雑音、低域のにごりなどがカットされ、音がクリアになります。また、このつまみを上昇させますと、パイプオルガンやベースギターなどの重低音が強調され、音に重みと安定感が出てきます。

⑩ 125Hz EQ つまみ

このつまみを下降させますと、ホルンや弦のにごりを低減させることができます。また、このつまみを上昇させますと、ティンパニーやバスボーカルの音が強調されます。

⑪ 250Hz EQ つまみ

このつまみは、はずみのある中低音とよばれる音域を調整します。このつまみを下降させますと、室内における音のひびきがなくなります。また、上昇させますと、ギターの中レンジ、テナー、アルトの音声強調されます。

⑫ 500Hz EQ つまみ

このつまみは、楽器や声の最も基本となる音域を調整します。ピアノの中音部の強調など、音に力強さ、量感を加えるのに有効です。

⑬ 1kHz EQ つまみ

音の張り出し、定位などを調整するところであり、特にボーカルなどの臨場感をつくりだすのに有効です。

⑭ 2kHz EQ つまみ

⑮ 4kHz EQ つまみ

この音域は、最も耳につきやすく、刺激的に感じられるところであり、このつまみを上昇させますと、ピッコロ、バイオリン、ハーブ、またはフルート等多くの楽器の明るさと、華やかさが強調されます。

⑯ 8kHz EQ つまみ

このつまみは、シンバル、ベル、タンバリン等の楽器を強調するのに有効であり、音のつやをつくり出すのに効果があります。

⑰ 16kHz EQ つまみ

この音域は、音よりも雰囲気をつくる場所であり、つまみを上昇させますとバイオリンやピッコロ等の楽器が持つ繊細な性格が強調されます。

⑱ スペクトラム アナライザーディスプレイ (SPECTRUM ANALYZER)

11本のバーグラフで表示されます。左側から⑧～⑰の各EQつまみに対応した周波数成分の大きさを表します。また一番右側のグラフ (FULL RANGE) は、周波数に関係なくトータルのレベルを表示します。

㉑ 入力レベル減衰スイッチ (INPUT ATT.)

本機 (EQ580) の最大許容入力レベルは、充分大きな値 (5V以上) になっていますが、さらに大きな入力レベルに対応したいときは、このスイッチを押すと10Vの入力レベルでも歪を発生しません。このスイッチは、EQスイッチ㉒のON/OFFに関係なく動作します。

㉒ 再生EQスイッチ (EQ)

スイッチをON (押した状態) すると、アンプのファンクションスイッチ等で、セレクトされたソースの音がイコライザー補正されて再生されます。イコライザー補正をしないで、オリジナル音を聞く場合には、スイッチをOFFの位置 (押さない状態) にしてください。

㉓ 録音EQスイッチ (EQ REC)

スイッチをON (押した状態) すると、本機 (EQ580) に接続されているテープデッキにイコライザー補正された信号を録音することができます。また、イコライザー補正を必要としないときには、スイッチの位置をOFF (押さない状態) にしてください。

㉔ テープモニタースイッチ (TAPE MON.)

このスイッチは、アンプなどのテープモニタースイッチに置き替わるもので、スイッチをON (押した状態) すると本機 (EQ580) に接続されているテープデッキ等の出力をモニターすることができます。また、スイッチの位置をOFF (押さない状態) にしますと、アンプのファンクションスイッチ等でセレクトされたソース (例えばFM放送、コンパクトディスク等) をモニターすることができます。

㉕ ディスプレイスイッチ (DISPLAY)

ディスプレイの動作モードを切替えるスイッチです。スイッチの切替えて、次のモードがディスプレイに表示されます。

スイッチの切替え	L	R	ディスプレイに表示される動作モード
両方押さないとき	■	■	マイクロホンの入力レベルを表示
Lを押したとき	■	■	左チャンネルのレベルを表示
Rを押したとき	■	■	右チャンネルのレベルを表示
両方押したとき	■	■	左右チャンネルのトータルレベルを表示

㉖ ピンクノイズスイッチ (PINK NOISE)

ピンクノイズを利用して音場補正を行うときにこのスイッチを押します。ピンクノイズは、左右両チャンネルから出力されます。

㉗ マイクロホンジャック (MIC)

マイクロホンを接続します

㉘ ディスプレイレベルつまみ (DISPLAY LEVEL)

ディスプレイのレベルを変えるときに使います。つまみを時計方向 (↻) にまわすと、バーグラフの高さが高くなります。

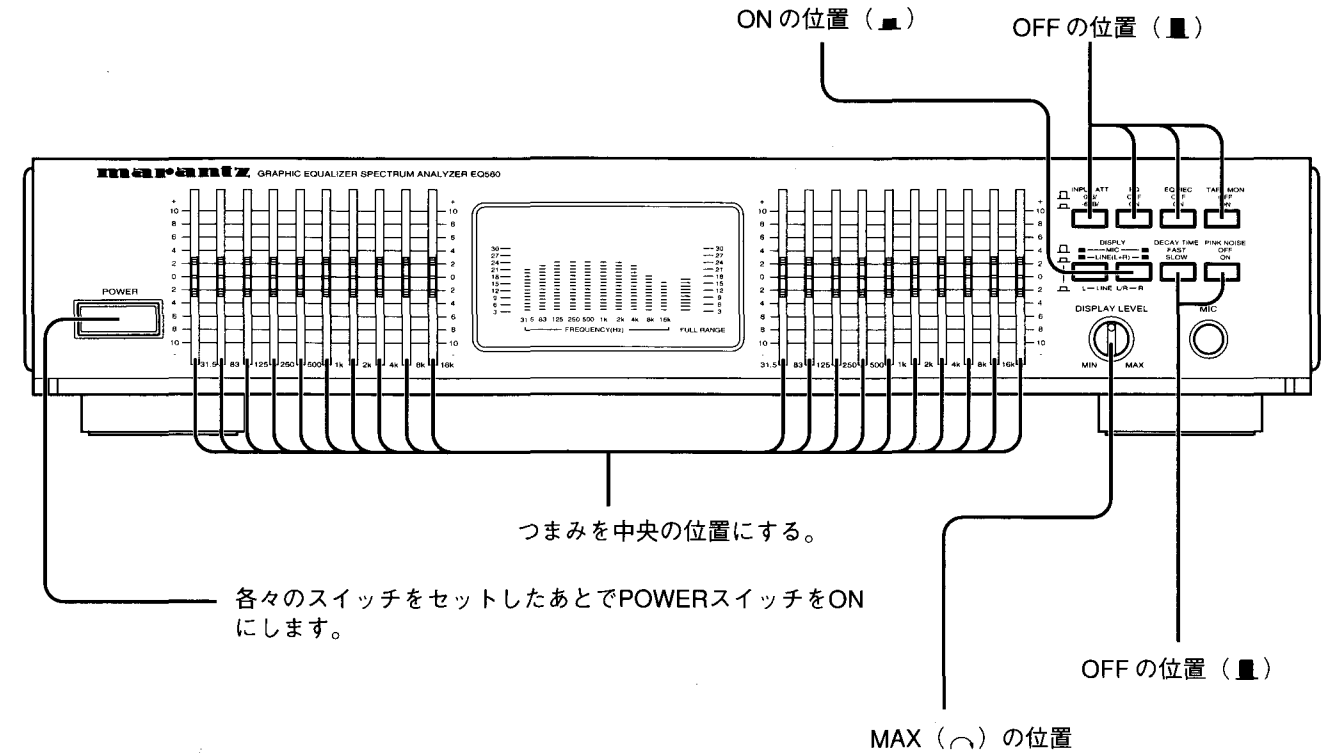
㉙ ディケイタイムスイッチ (DECAY TIME)

ディスプレイの表示速度を2段階 (FAST/SLOW) に変化させます。

3 使い方

(1) 音を出す前に

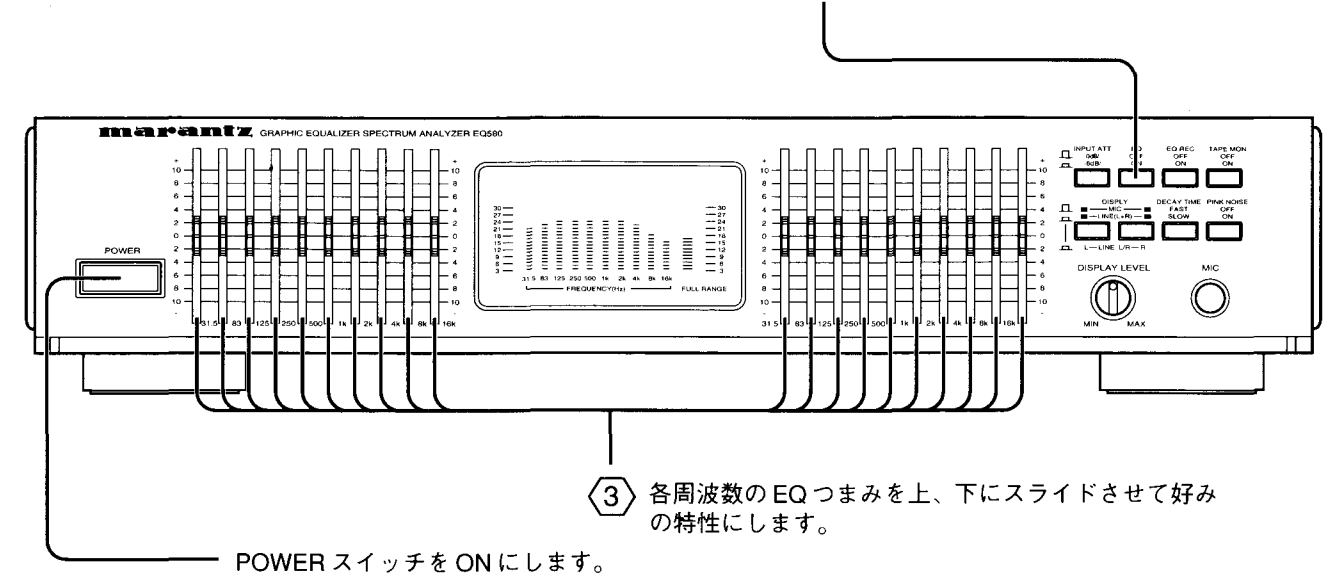
(各スイッチの位置は、次のようにしてください。)



(2) イコライザーとしての一般的な使い方

① 接続したアンプのテープモニタースイッチを“TAPE”にします。

② EQスイッチをON (■) の位置にします。

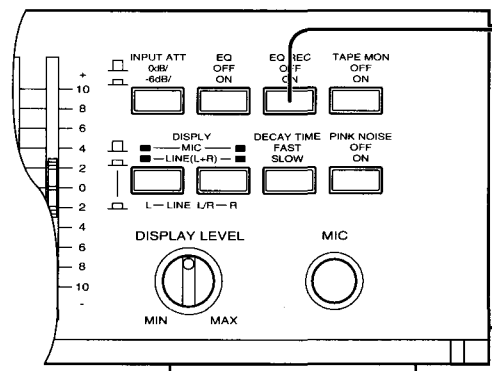


このとき、スペクトラムアナライザーのディスプレイおよび10本のイコライザー特性図、各イコライザーポイントと聴感の関係の表を参考に調整します。

〔3〕 テープデッキへの録音

(A) イコライザー補正して、テープデッキに録音したい場合

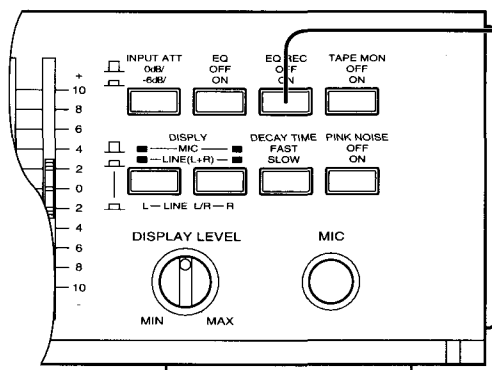
- ① “〔2〕 イコライザーとしての一般的な使い方” の手順により、各周波数のEQつまみで調節します。



- ② 録音EQスイッチ (EQ REC) を ON (●) にします。

この場合は、今、聞いているイコライザー補正の効いた状態で録音されます。

(B) イコライザー補正しないで録音する場合

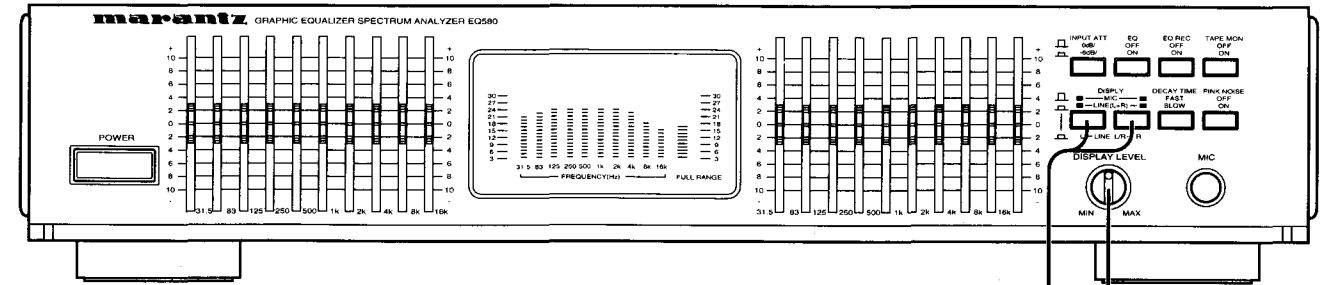


- 録音EQスイッチ (EQ REC) を OFF (■) にします。

この場合は、スピーカーで聞いているイコライザー補正された音楽とは関係なく、イコライザー補正されないまま録音されます。

■ スペクトラム アナライザーの操作のしかた

本機 (EQ580) には、ディスプレイスイッチ (DISPLAY) の組み合わせにより、次の3通りをディスプレイします。



①

②

ディスプレイの表示レベルを、適当なレベルになるように調整します。

スイッチの切換え	L	R	ディスプレイに表示される動作モード
両方押さないとき	■	■	マイクロホンの入力レベルを表示
Lを押したとき	■	■	左チャンネルのレベルを表示
Rを押したとき	■	■	右チャンネルのレベルを表示
両方押したとき	■	■	左右チャンネルのトータルレベルを表示

4 スペクトラム アナライザーについて (SPECTRUM ANALYZER)

20Hz から 20kHz の可聴周波数帯域を 10 分割して、その分割された各々の周波数成分がどれだけあるか、すなわち音楽の各周波数のエネルギー分布をバーグラフによって表わしたものです。

このエネルギー分布は、時々刻々変化しますが、それに対応してディスプレイのバーグラフの高さが変化します。

バーグラフは全部で 11 本あります。一番右側の太いバーグラフは、周波数に関係なく全体のレベルの高さを表わします。

従ってピンクノイズ (PINK NOISE) を使用して、部屋の音場補正を行う場合は、全部のバーグラフが同じ高さになったときがフラットなレスポンスということになります。

〔1〕 左右チャンネルのトータルレベルを表示させる場合

- ① ディスプレイスイッチ (DISPLAY) を “L” および “R” 共に ON (■) にします。

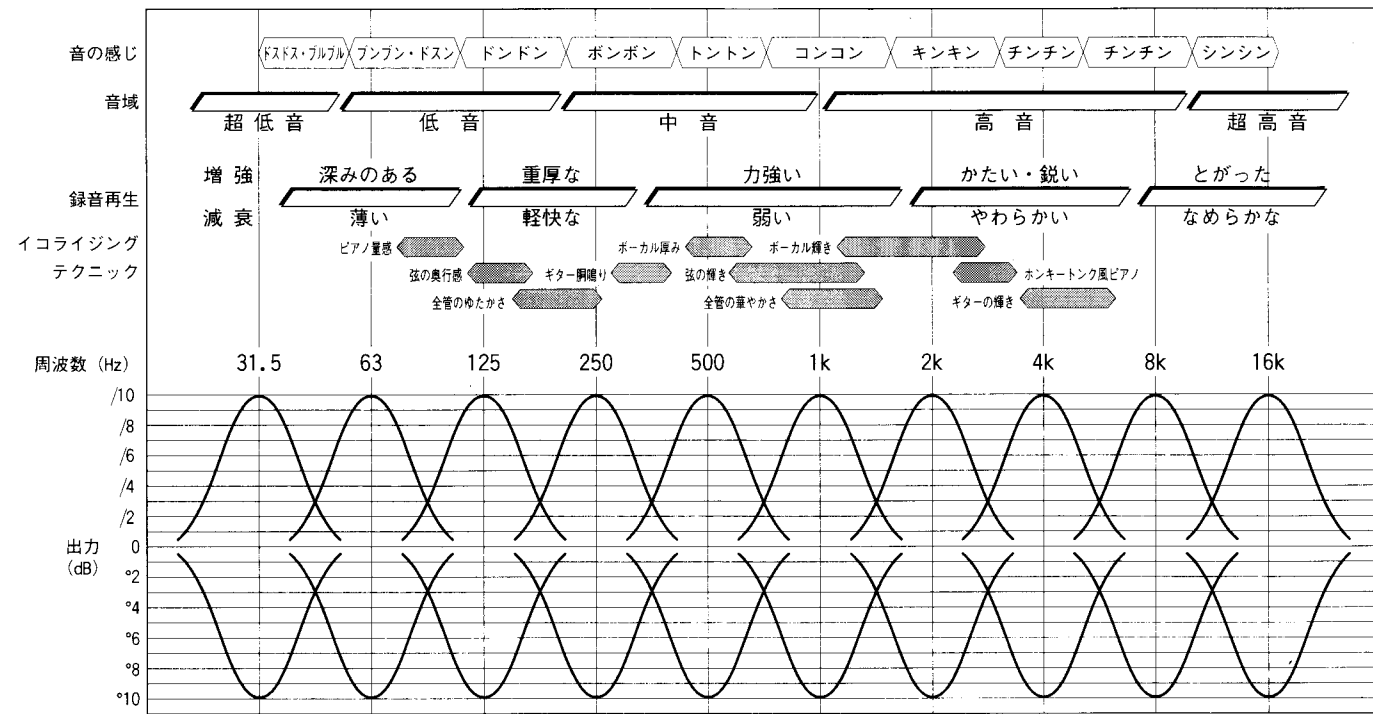
〔2〕 左または右チャンネルを別々に表示させる場合

- ① ディスプレイスイッチ (DISPLAY) の “L” または “R” のいずれか表示させたい一方を ON (■) にします。

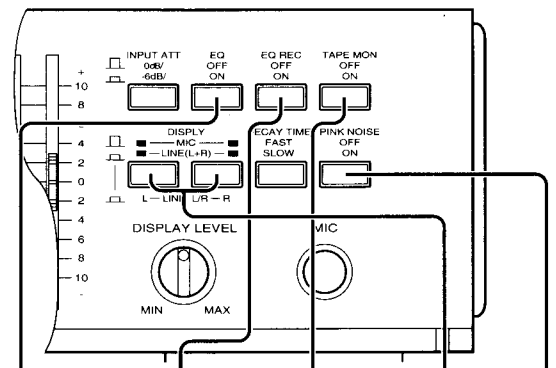
〔3〕 音場補正のために、マイクロホンのレベルを表示させる場合

- ① ディスプレイスイッチ (DISPLAY) を “L” および “R” 共に OFF (■) にします。

■イコライザー特性図、各イコライザーポイントと聴感の関係



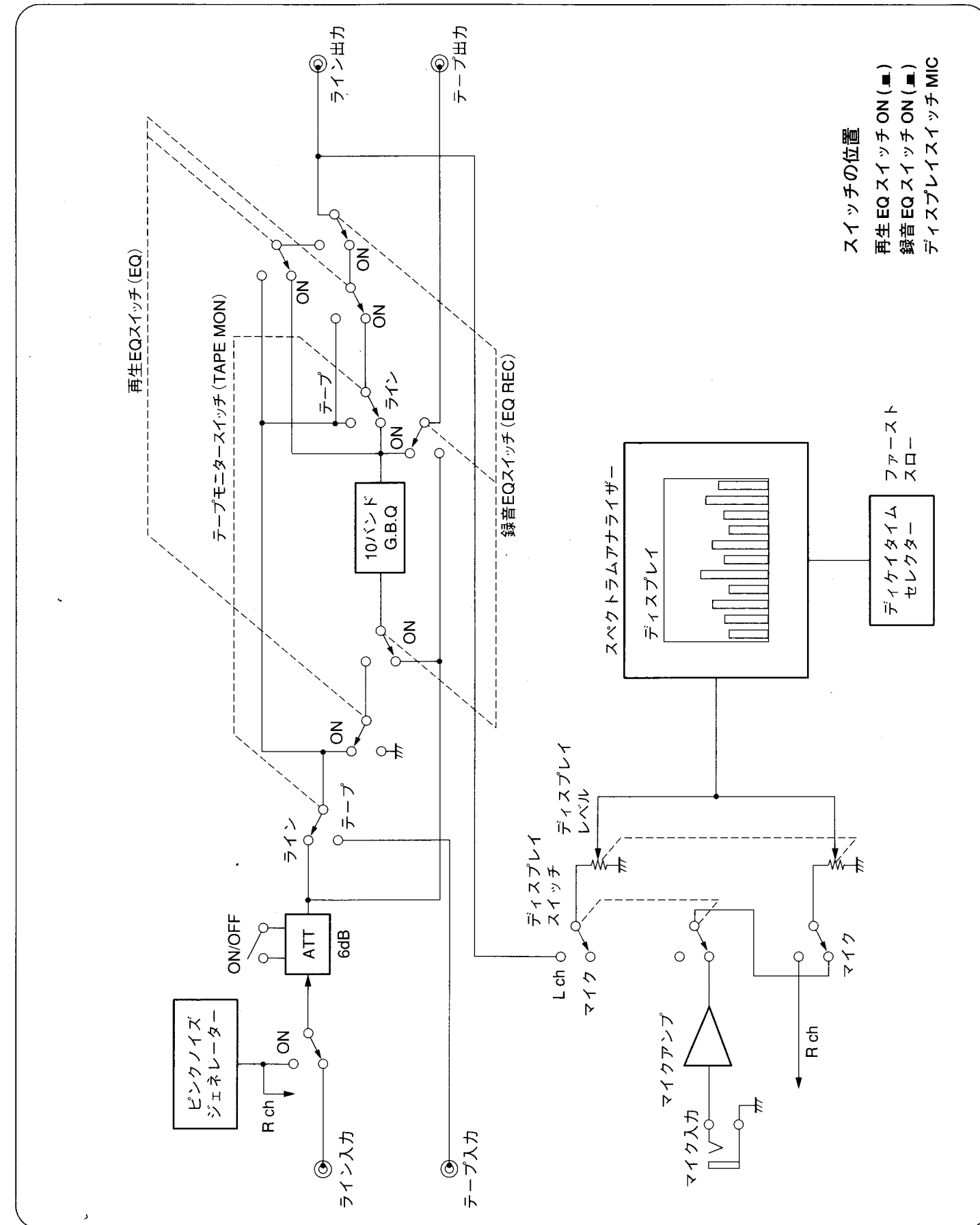
■機能別の操作方法



機能		スイッチ	EQ	EQ REC	TAPE MON	DISPLAY	PINK NOISE	TAPE MONITOR	アンプ
ライン入力	イコライザー補正した音を聞く		■ ON	—	■ OFF	■ ■ L+R	■ OFF	TAPE	CENTER
	オリジナルの音を聞く		■ OFF	—	■ OFF	■ ■ L+R	■ OFF	TAPE	CENTER
	イコライザー補正してテープレコーダーに録音		—	■ ON	—	■ ■ L+R	■ OFF	TAPE	CENTER
	オリジナルの音をテープレコーダーに録音		—	■ OFF	—	■ ■ L+R	■ OFF	TAPE	CENTER
テープレコーダー再生	イコライザー補正して音を聞く		■ ON	—	■ ON	■ ■ L+R	■ OFF	TAPE	CENTER
	イコライジングしない音を聞く		■ OFF	—	■ ON	■ ■ L+R	■ OFF	TAPE	CENTER
マイクを使って音場補正	左チャンネル		■ ON	■ OFF	■ OFF	■ ■ MIC	■ ON	TAPE	LEFT
	右チャンネル		■ ON	■ OFF	■ OFF	■ ■ MIC	■ ON	TAPE	RIGHT

— : スイッチの位置は "ON"、"OFF" いずれでも機能します。

5 ブロックダイアグラム



6 お手入れ

・セットが汚れたときは、やわらかい布でからぶきしてください。汚れがひどいときは食器用洗剤を5～6倍にうすめ、やわらかい布に浸し、固く絞って汚れをふきとったあと、乾いた布でからぶきしてください。

・アルコール、シンナー、ベンジン、殺虫剤など揮発性のものが付着すると塗装がはげたり、光沢が失われることがありますから絶対にご使用にならないでください。

また、化学ぞうきんでこすったり、長時間接触させたままにしておきますと変質したり、塗料がはげたりすることがありますのでご注意ください。

7 保証・アフターサービスについて

1. この商品には保証書を別途添付してあります。
保証書は「販売店印・保証期間」をご確認のうえ、販売店からお受取りいただき、よくお読みの上大切に保存してください。
2. 保証期間はご購入日より1年間です。
正常なご使用状態で、この期間内に万一故障の節は、ご購入販売店、または弊社営業所で保証書記載事項に基づき「無償修理」いたします。
3. 保証期間経過後の修理
修理によって機能が維持できる場合は、お客様のご要望により有料修理いたします。
4. 当社はこの製品の補修用性能部品を製造打切後最低8年間保有しています。
5. 補修用部品の詳細・ご贈答・ご転居等アフターサービスについての不明な点は、ご購入販売店または当社サービスセンターに遠慮なくご相談ください。

8 規格

定格出力	1V
ひずみ率（1V時、20Hz～20kHz）	0.005%
混変調ひずみ率（SMPTE）	0.005%
周波数特性（±1.0dB）	10Hz～25kHz
利得	0dB
S/N比（1V＝0dB, "A" WEIGHTED）	96dB
可変範囲	±10dB
中心周波数	31.5Hz, 63Hz, 125Hz, 250Hz 500Hz, 1kHz, 2kHz, 4kHz 8kHz, 16kHz
入力インピーダンス（LINE IN 端子）	47kΩ
出力インピーダンス（LINE OUT 端子）	2kΩ
電源	100V 50 / 60Hz
消費電力	8W
外形寸法（幅×高さ×奥行き）	439 × 93 × 336mm
質量	4.2kg

●付属品

オーディオステレオ用RCAピンコード	2本
--------------------	----

本機の規格、外観は、改良のため予告なく変更することがありますがご承知ください。